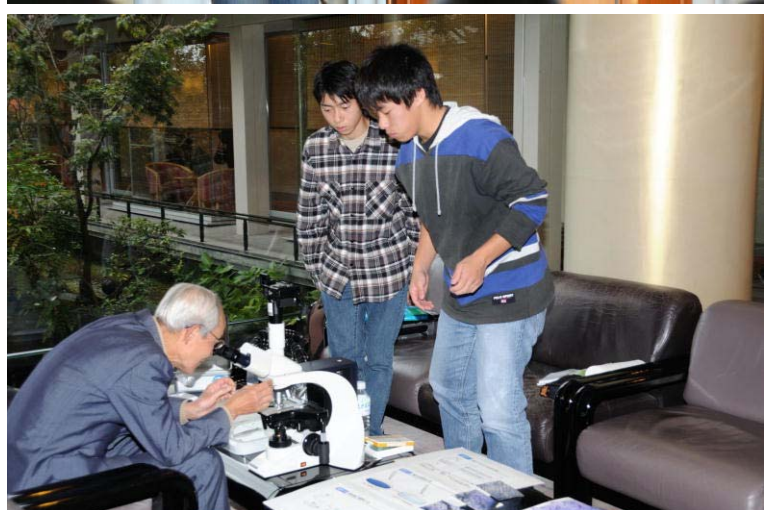


2008年度 長岡高専・中学生科学クラブ 第9回講座 コメッセ2008 at 岩室温泉 米の内部を見よう・科学クラブの活動紹介

2008年11月9日（日） 10:00～15:00

岩室温泉ゆもとやコンベンションホール

講師：物質工学科 菅原 正義 教授



長岡高専・中学生科学クラブ9回目の講座は、11月9日（日）岩室温泉ゆもとやコンベンションホールで開催されたコメッセ2008で高専・中学生科学クラブの紹介と「米の内部を見よう」の講座を行った。科学がおこす、コメ騒動！ コメッセ2008は、「一粒のコメとかけて地球が見えるととく。そのころは？」をテーマに、新潟大学とNIST（NPO新潟の科学・自然探偵団）の主催によって11月8, 9日に開催されたもので、8日：ほてる大橋でサイエンス宿（①省エネ、②酒、③糖と健康に関する講演・サイエンス談義、菅原が③の講師）、9日：ゆもとやでコメフォーラム、コメッセ探偵団発表会・授賞式、伝統文化伝承館でコメッセわらアートまつりがあった。

今回は、コメッセ探偵団として、中学生科学クラブ講座助手の物質工学科5年：佐藤達也、菅原雅通がこれまでの中学生科学クラブ活動の紹介とコメの顕微鏡写真の展示、実際の顕微鏡観察講座を行った。今回は、努力賞受賞に終わったが、来年はより充実した発表を目指す予定である。